※令和４年度以降入学生用

学校番号	401

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	日本史探究「詳説日本史」　（山川出版社）						
副教材等	新詳日本史（浜島書店）日本史重要語句 Check list 2026 年度版（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

2 年に引き続き、日本史を学びます。今年は中世後期から近世・近現代という長い時期を扱います。日本社会がどのように発展していくのか、時代による特徴はどんなものなのか、確認しつつ勉強してください。非常に分量の多い科目なので、まず基本的な知識が系統立って理解できていることが非常に重要です。教科書だけでなく、副教材を活用してしっかり勉強してください。

2　学習の到達目標

①歴史の大きな流れをつかむことで、時代ごとの特徴を理解し、現代につながる社会の発展の過程を知る。
②史資料を的確に読み取り、その史資料が意味することを判断できる力を身に付ける。
③日本のみならず、近隣の国々との歴史的・地理的関係を理解し、歴史的事実が現代の国際関係に及ぼしている影響を考察し、より良い未来を創る主権者としての力を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に理解していると共に、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。	日本の歴史展開に関わる事象の意味、文化の特色などを時期や年代、推移、相互の関連や現在とのつながりに着目して考察したり、歴史に見られる課題を把握して解決を視野に入れて構想したりする力を養い、これらを説明して、議論する力を身に付ける。	日本の歴史展開に関わる諸事象について、幅広い視野を持って探究すると共に、過去の歴史的事実が現代の国際関係に及ぼしている影響を多角的・多面的に考察し、他国の歴史・文化に対する理解を深めることで、より良い国際関係を作るために、日本の進むべき道を考察できる力を身に付ける。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	武家社会の成長	室町幕府の成立 幕府の衰退と庶民の台頭 室町文化 戦国大名の登場	a:鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易、琉球王国の成立などについて理解すると共に、諸産業の発達・自治的な村の成立、応仁の乱を経て、文化がどう変化するか、守護大名と戦国大名の領国経営の特徴を理解する b:史料や地図の読解を通じて東アジアの国際情勢の変化や国内の戦乱がどのように社会の発展につながっているのかに気づきその影響を考察する。 c:武家社会の変容や社会経済の発展、東アジアの国際情勢の変化等について主体的に考察し、表現しようとしている。	定期考査・提出課題・発問評価	定期考査・提出課題・発問評価・発表・レポート提出	提出課題・授業態度・発表・レポート提出
	近世の幕開け	織豊政権 桃山文化	a:国際情勢と織豊政権の特色や対外関係を理解し、桃山文化の幅広い国際性や生活文化との関連を理解する。 b:織豊政権の諸政策の目的や朝鮮出兵が与えた影響について考察する。 c:時代の転換期であることに着目し、社会の変化について差異を見出そうとすると同時に、朝鮮出兵をしたことの国内的事情とその後の日朝関係に与えた影響について主体的に考察し表現しようとしている。	定期考査・提出課題・発問評価	定期考査・提出課題・発問評価・発表・レポート提出	提出課題・授業態度・発表・レポート提出

※令和４年度以降入学生用

	幕藩体制の成立と展開	幕藩体制の成立 幕藩体制の構造 幕政の安定 経済の発展 元禄文化	a：織豊政権との類似と相違、江戸幕府の法や制度、対外関係の推移、幕藩体制の下の支配体制、封建的身分秩序、文治政治への転換、産業の発達、都市の発達と文化の発展について理解している。 b:江戸時代の貿易統制や支配体制、交通や流通の発達と文化のありかたを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:幕藩体制が確立で、安定していく過程において産業や文化とのかかわりあいについて、主体的に考え、考察しようとしている。	定期考査・提出課題・発問評価	定期考査・提出課題・発問評価・発表・レポート提出	提出課題・授業態度・発表・レポート提出
	幕藩体制の動揺	幕政の改革 宝暦・天明期の文化 幕府の衰退と近代への道 化政文化	a:幕府・諸藩の経済的窮乏とその原因、諸改革のそれぞれの時期での課題などを理解するとともに、社会・文化の担い手の変化と雄藩の成長について理解している。 b:商品作物の栽培や貨幣経済の浸透、幕藩体制の動揺と文化の関連性、国際関係の変化などに着目して、幕府と諸藩の動向を多角的・多面的に考察し、表現している。 c:幕藩体制下での社会・経済の仕組みの変化や外交政策の転換について主体的に考え、考察しようとしている。	定期考査・提出課題・発問評価	定期考査・提出課題・発問評価・発表・レポート提出	提出課題・授業態度・発表・レポート提出
2学期	近世から近代へ	開国と幕末の動乱 幕府の滅亡と新政府の発足	a:欧米諸国進出による幕府の政策転換と開国にいたる経緯を理解し、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。 b:日本が直面していた国内外の諸課題を踏まえ政治や経済などの諸側面の変化を多面的・多角的に考察し、表現している。 c:日本の開国にかかわる諸事象を国際的な観点から考察し、開国のもたらす政治的・社会的・経済的影響について主体的に考え考察しようとしている。	定期考査・提出課題・発問評価	定期考査・提出課題・発問評価・発表・レポート提出	提出課題・授業態度・発表・レポート提出

※令和４年度以降入学生用

	近代国家の成立	明治維新と富国強兵 立憲国家の成立	a:明治政府による中央集権化の諸政策と自由民権運動の展開や明治憲法の成立と議会開設の経過について理解している。 b:諸制度の改革が地域社会にもたらした影響、諸外国との条約の相互比較、欧米の思想文化の影響などについて多角的・多面的に考察し、表現している。 c:自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲主義の在り方について主体的に追及しようとしている。	定期考査・提出課題・発問評価	定期考査・提出課題・発問評価・発表・レポート提出	提出課題・授業態度・発表・レポート提出
	近代国家の展開	日清・日露戦争と国際関係 第一次世界大戦と日本 ワシントン体制	a:日清・日露戦争前後における条約改正・韓国併合・第一次大戦が日本に及ぼした影響、ワシントン体制などについて理解している。 b:戦争が国民の意識にどのような影響をもたらしたか、大戦後に高揚した権利意識や国際的な民族運動について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて、当時の日本外交に与えた影響や課題を主体的に追及しようとしている。	定期考査・提出課題・発問評価	定期考査・提出課題・発問評価・発表・レポート提出	提出課題・授業態度・発表・レポート提出
	近代の産業と生活	近代産業の発展 近代文化の発達 市民生活の変容と大衆文化	a:産業の発展の背景と影響などが労働や生活に与えた影響、国会主義的な思想の形成、欧米文化の摂取、教育の普及などが市民生活をどのように変化させてかを理解する。 b:労働問題や公害の発生、学校教育のあり方、国民意識の変化について多面的・多角的に考察し表現している。 c:産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、主体的に追及しようとしている。	定期考査・提出課題・発問評価	定期考査・提出課題・発問評価・発表・レポート提出	提出課題・授業態度・発表・レポート提出

※令和４年度以降入学生用

３学期	恐慌と第二次世界大戦	恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦	a:国際社会やアジア諸国との関係に着目して恐慌と政府の対応、軍部の台頭と満州事変から始まる戦争の経過と国民生活への影響について理解をする。 b:当時の社会が抱えた矛盾と対外政策、日本の全体主義的な国家体制の形成について多面的・多角的に考察し、表現をする。 c:当時の世論の動向と軍部の政治的台頭がどのように結びついったのかを主体的に追及しようとしている。	定期考査・提出課題・発問評価	定期考査・提出課題・発問評価・発表・レポート提出	提出課題・授業態度・発表・レポート提出
	占領下の日本	占領と改革 冷戦の開始と講和	a:戦後の諸改革の内容と占領政策の転換による日本の政治や社会の変化、講和がもたらしたものについて理解する。 b:連合軍の対日占領政策が何を目的としていたのか、単独講和が意味すること及び現代に及ぼす影響について多面的・多角的に考察し、表現をする。 c:現代日本との関連性を踏まえながら、占領期の改革がもたらした成果と課題について主体的に追求しようとしている。	定期考査・提出課題・発問評価	定期考査・提出課題・発問評価・発表・レポート提出	提出課題・授業態度・発表・レポート提出
	高度成長の時代	55 年体制 経済復興から高度経済成長へ	a:保守合同による自由民主党の成立と冷戦を背景にした高度経済成長のなかでの長期保守政権が生み出したものを理解する。 b:日ソ共同宣言、国連の加盟、新安保条約、日韓基本条約、沖縄返還など大きな外交政策のなかで日本はどう歩んできたのかを多面的・多角的に考察し、表現する。 c:高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化が現在にどう結びついているのかを主体的に追及しようとしている。	定期考査・提出課題・発問評価	定期考査・提出課題・発問評価・発表・レポート提出	提出課題・授業態度・発表・レポート提出

※令和４年度以降入学生用

	激動する世界と日本	経済大国への道 冷戦の終結と日本社会の変容	a:ドルショックや石油危機による世界経済の混乱への対応をへて経済大国になったとされる日本が冷戦終結後、失われた 30 年と言われる経済停滞状況を続けていることを理解する。 b:日本が経済大国となった要因と現在の経済停滞の要因を関連付けて多面的・多角的に考察し表現する。 c:日本社会が大きな曲がり角を迎えているとされる現在において戦後 80 年間をどのように総括すべきかを主体的に追及しようとしている。	定期考査・提出課題・発問評価	定期考査・提出課題・発問評価・発表・レポート提出	提出課題・授業態度・発表・レポート提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度